

きゅうしゅくだい

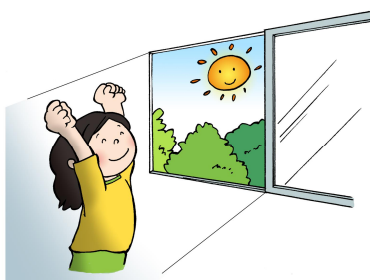
5月

札幌市立日新小学校 2025年5月2日

新年度が始まり、1か月が経過しようとしています。子どもたちは、新しい環境に慣れると同時に、少しずつ疲れがたまってきているかもしれません。連休明けも体調を崩さず元気に過ごせるよう、栄養と休養をしっかりととり、規則正しい生活ができるようご配慮いただければと思います。

「はやね・はやあき・あさごはん」で生活リズムを整えよう！

ゴールデンウィークを過ぎた頃になると、それまで張りつめていた緊張が解け、気持ちが沈んだり、やる気が出なかったりすることがあります。いわゆる「五月病」と呼ばれますが、これを防ぐには、生活リズムを整えること、一日3回規則正しい食事を心がけることが大切です。



人間が本来持っている生体リズム（体内時計）は、25時間といわれています。これを24時間にリセットするためには、朝決まった時間に太陽の光を浴びると良いといわれています。朝寝坊してしまうと、朝日を十分に浴びることができなったり、朝ごはんを食べ損ね、生活リズムを乱すことになったりする恐れがあります。連休中も、毎日同じ時間に起きて、朝日を浴びること、朝ごはんをしっかりと食べることを心がけましょう。

体がよろこぶ朝ごはんを食べよう！

①パワーの源！主食

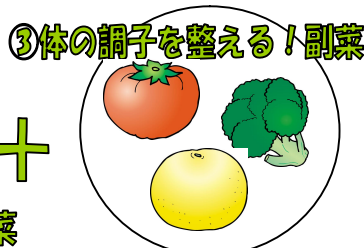


+



②筋肉や血の源！主菜

+



+



④のどごしをよくし、足りない栄養を補う！

①の主食を中心に、②～④の主菜、副菜、汁物・飲み物を組み合わせるようにしましょう。

朝は忙しく時間がないので、夕食の残りや加熱しなくても食べることのできる食材を利用したり、パンやごはんの上にいろいろなおかずをのせたりして、簡単に準備ができる工夫をするとよいと思います。朝は食欲がないというお子さんは、いつもより少しだけ早く起きて、朝ごはんの盛り付けなど簡単な手伝いをする事で、おなかがすいてくるかもしれません。

食べる習慣がないご家庭は、何かを食べることから始めていただければと思います。

日本の食文化 ～こどもの日（5月5日）～

「端午の節句」といわれ、男の子の健康と出世を願い、お祝いする日とされてきました。

☆粽（ちまき）

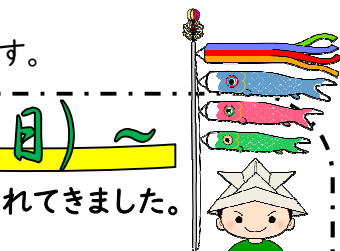
平安時代は、もち米やくず粉を練って茅（ちがや）の葉にまいて蒸したことから「ちがやまき」と呼ばれ、それが短縮され「粽（ちまき）」となりました。現在は、笹の葉に包んで蒸したものです。

☆柏餅（かしわもち）

もち米を練って、中にあんこを入れて柏の葉で包んで蒸したものです。

柏の木は、新しい芽が出て、若葉が大きくなると葉が落ちないことから

「家が絶えない」という縁起のよさで、男の子のお祝いに使われてきました。



5月のよていにんだて

※献立内容(果物など)は仕入れの状況などにより
変更する場合があります。

※給食で使用している主な食材をのせています。

[illegible]